

卒業生調査 結果

調査対象者

令和4年度の本学介護福祉学科の卒業生（第26期生）22名

調査期間

令和5年12月から令和6年1月

調査票回収数・回収率

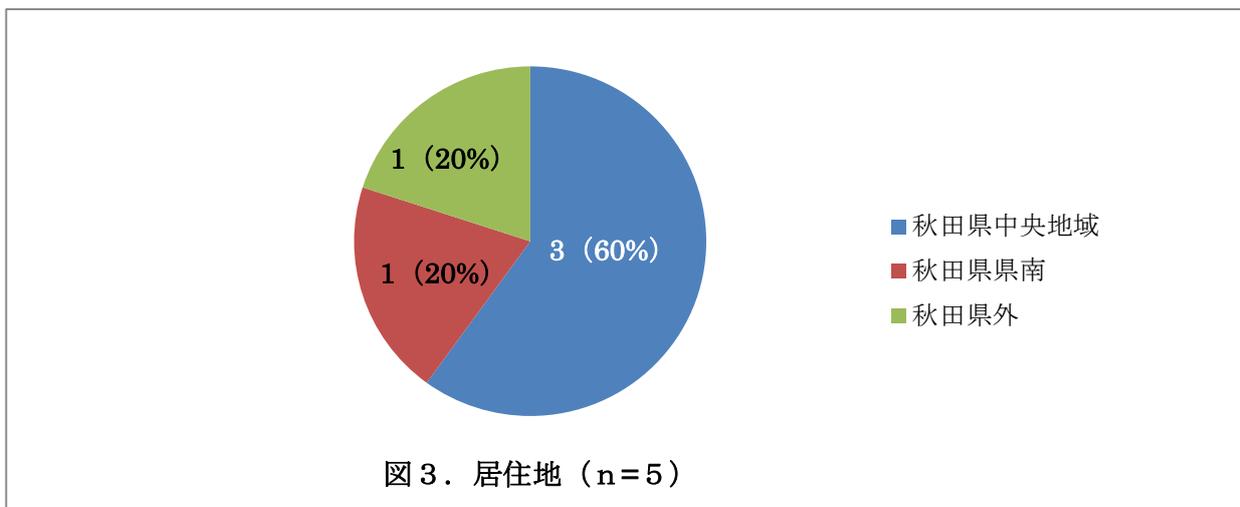
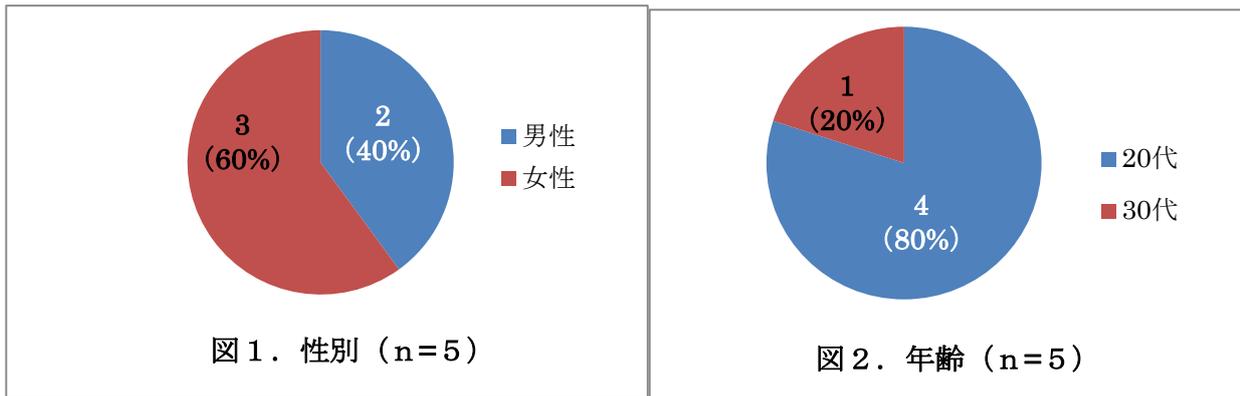
回収：5名

回収率：25.0%

1. 回答者の属性

回答者3名のうち女性が3名（60%）、男性が2名（40%）。年齢は20代が4名（80%）、30代が1名（20%）であった。

回答者の居住地は、秋田県の中央地域3名（60%）、県南地域1名（20%）、県外1名（20%）であった。



2. 卒業生の就業先・職種

回答者のうちの4名（80％）が就業者、失業・求職中が1名（20％）であった。

就業者の職業種別は3名が「介護・福祉関係」、1名が「医療関係」であり、職種は4名全員が「ケアワーカー（介護職）」であった。

就業先の運営主体は「日本赤十字社」2名、「社会福祉法人」1名、「株式会社・有限会社」1名であった。

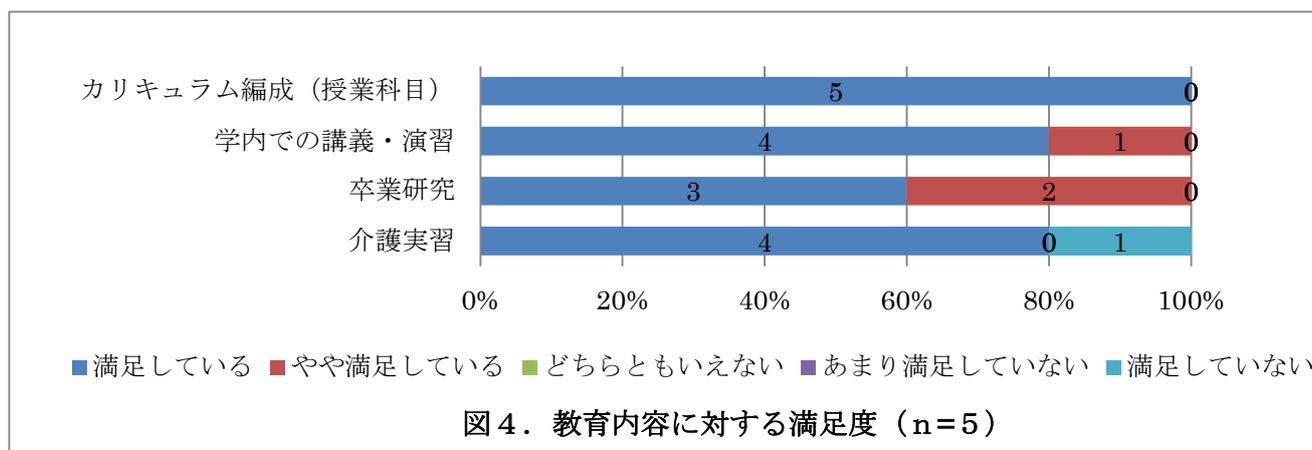
3. 在学中の教育・学生生活に対する満足度

在学中の教育や学生生活について、『教育内容』、『学生生活』、『施設・設備』の区分で満足度を尋ねた。

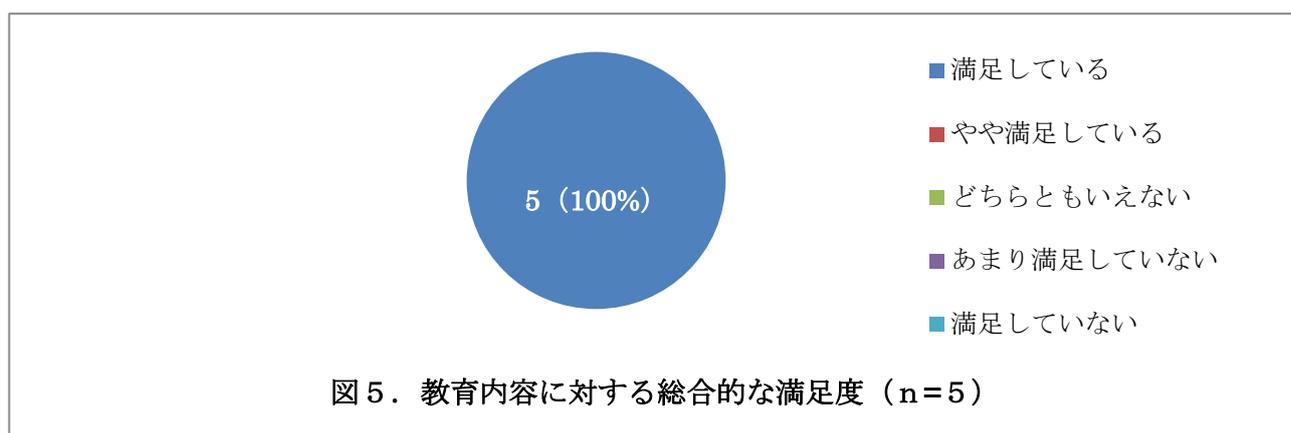
1) 『教育内容』に対する満足度

教育内容については、「カリキュラム編成(授業科目)」、「講義・演習の内容」、「ゼミ・研究活動」、「介護実習」の4項目について満足度を尋ね、更に教育内容全体に対しての総合的満足度を尋ねた。

4項目中、「満足している」が最も多かったものは「カリキュラム編成(授業科目)」5名（100％）、次いで「学内での講義・演習」、「介護実習」各4名（80％）であった。ただし、「介護実習」においては1名（20％）から「満足していない」という回答があった。



教育内容全体に対する総合的満足度は、全員が「満足している」という回答であった。

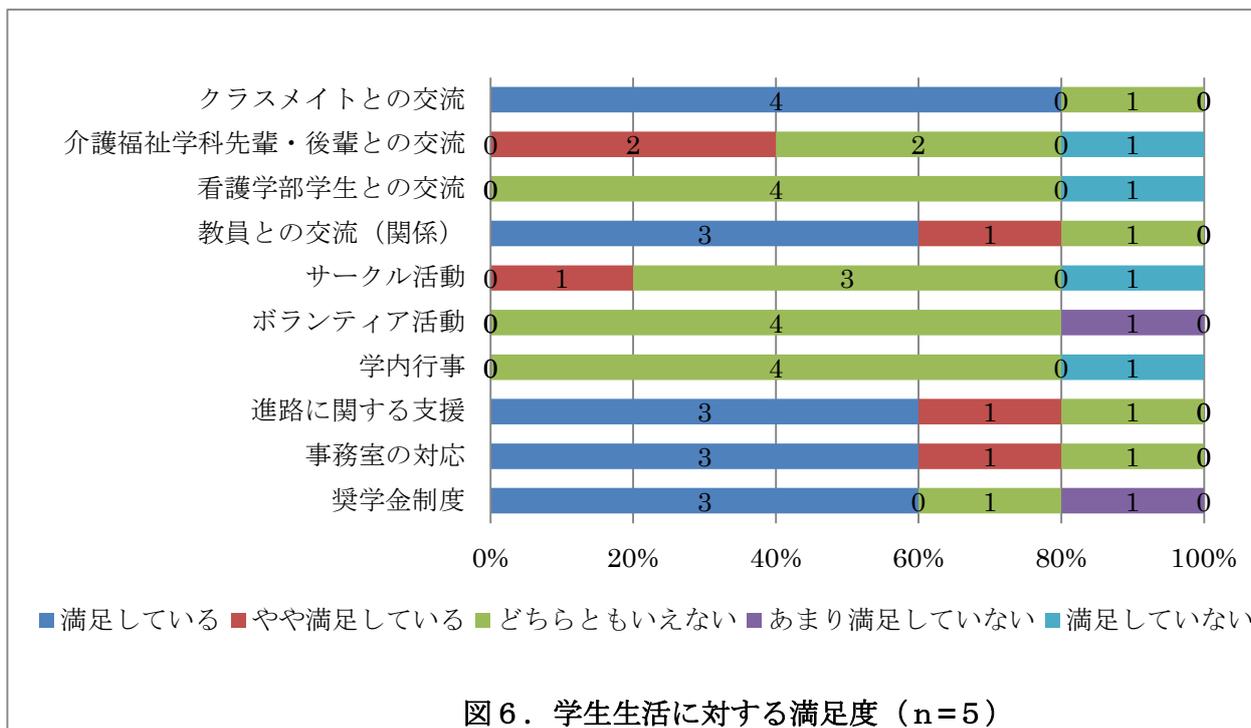


2) 『学生生活』に対する満足度

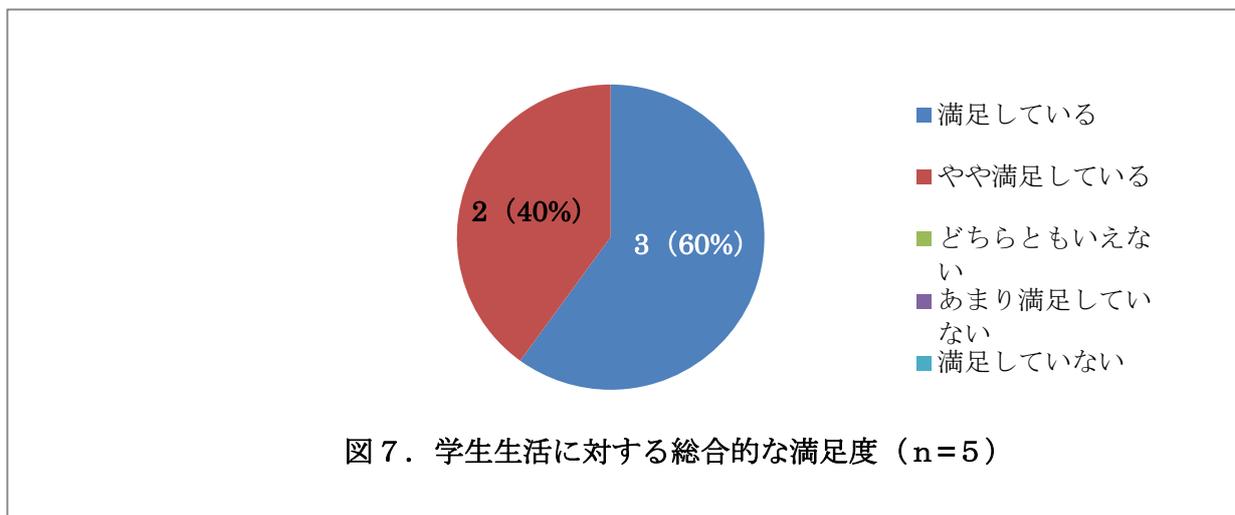
ここでは10項目に対する満足度を尋ねた。

「満足している」が最も高かった項目は「クラスメイトとの交流」4名（80%）であった。次いで「教員との交流（関係）」「進路に関する支援」「事務室の対応」「奨学金制度」各3名（60%）であった。

満足度が低かった項目は「看護学部学生との交流」「学内行事」「ボランティア活動」であった。



学生生活に対する総合的満足度は、「満足している」3名（60%）、「やや満足している」2名（40%）であった。

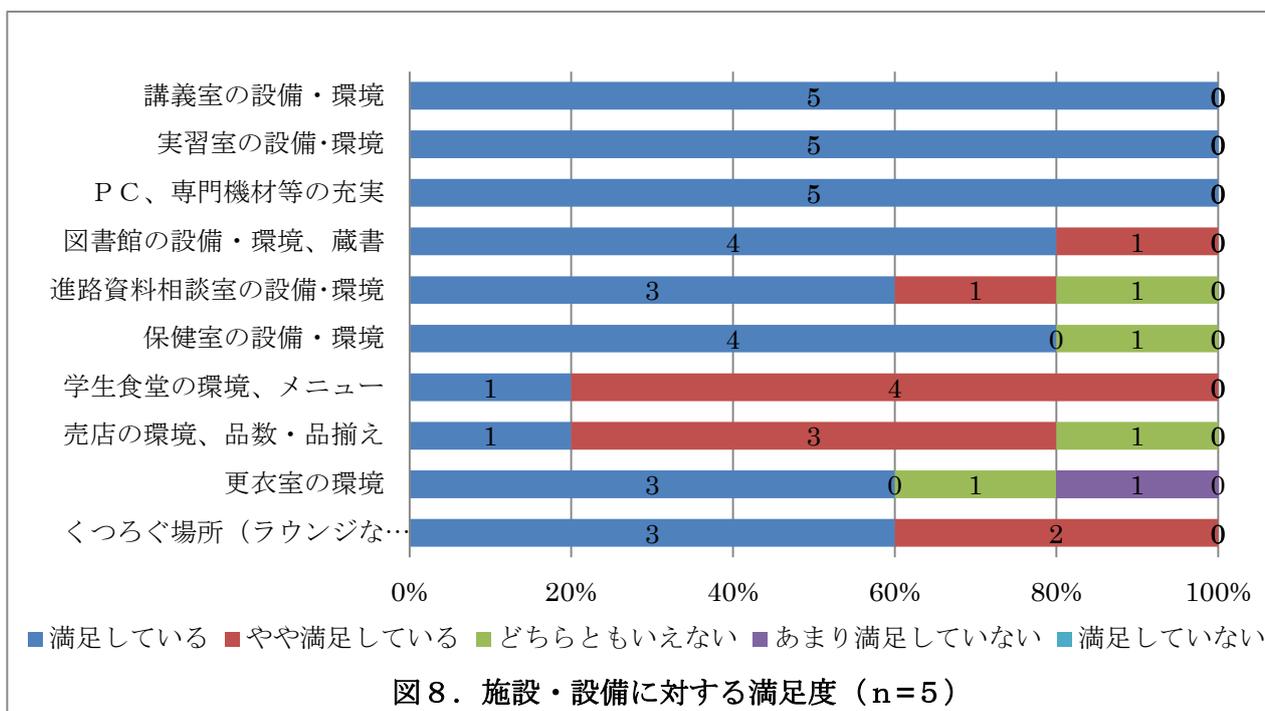


3) 『施設・設備』に対する満足度

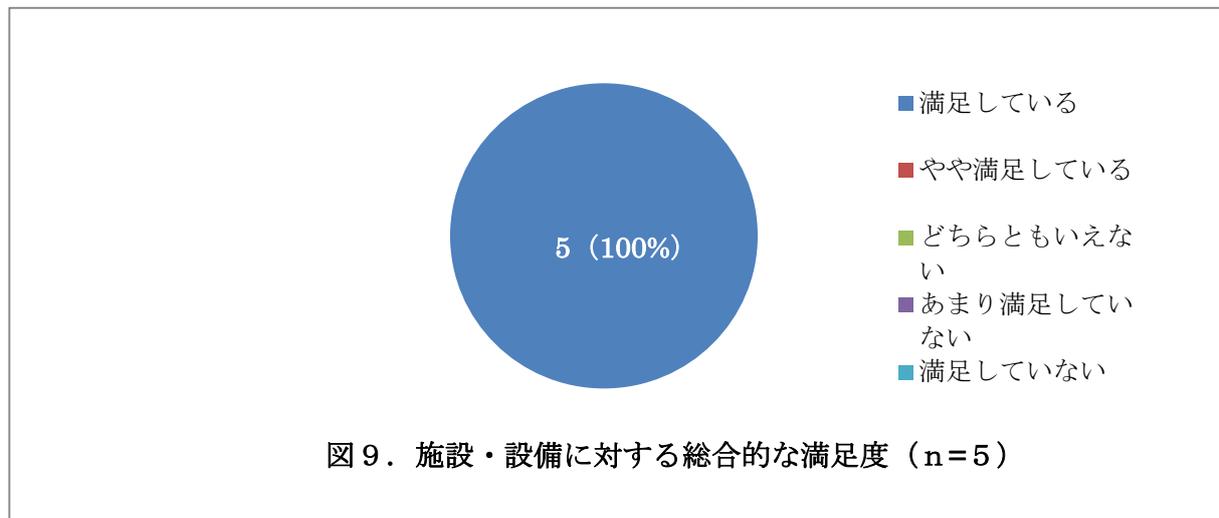
ここでは10項目に対する満足度を尋ねた。

「満足している」が最も多かった項目は「講義室の設備・環境」「実習室の設備・環境」「PC、専門機材等の充実」5名（100%）であった。次いで「保健室の設備・環境」4名（80%）であった。

一方で、「あまり満足していない」との回答があった項目は「更衣室の環境」1名（20%）であった。「満足していない」との回答はなかった。



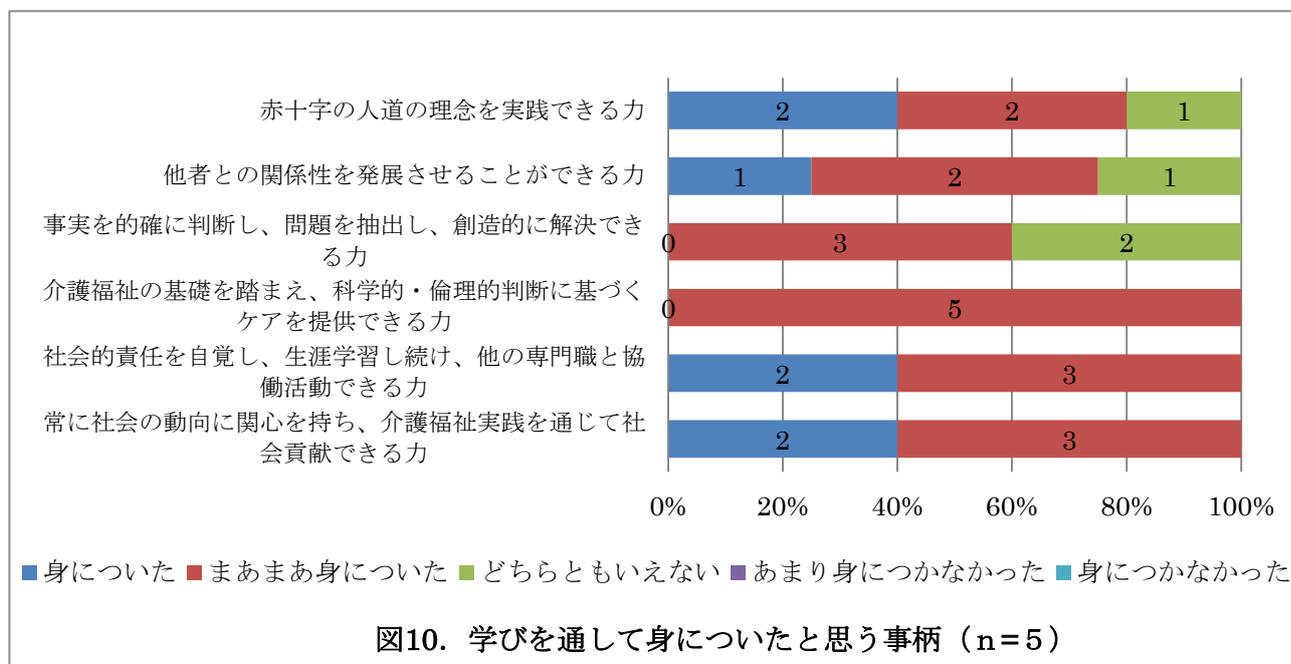
施設・設備に対する総合的満足度は、「満足している」が5名（100%）であった。



4. 本学での学びを通して身につけたこと

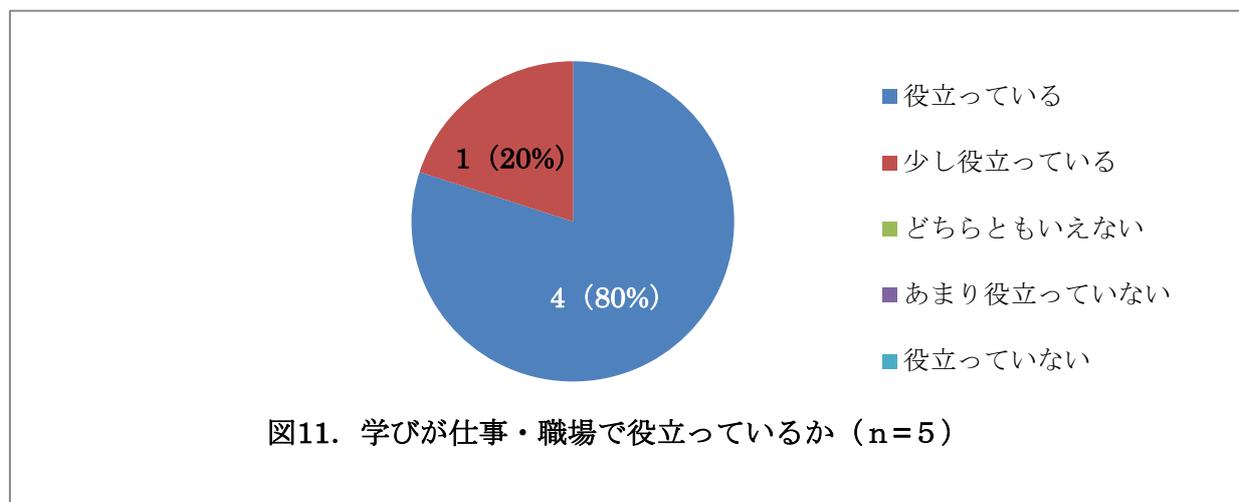
設定した6項目が本学の学びを通して身についたと思うか、について、「身についた」から「身につかなかった」までの5件法で回答を求めた。

「身についた」という回答が最も多かった項目が「赤十字の人道の理念を实践できる力」「社会的責任を自覚し、生涯学習し続け、他の専門職と協働活動できる力」「常に社会の動向に関心を持ち、介護福祉実践を通じて社会貢献できる力」各2名（40%）であった。



5. 本学での学びが仕事（職場）で役立っているか

本学での学びが仕事・職場で役立っているかについては、「役立っている」が4名（80%）、「少し役立っている」1名（20%）であった。



6. 在学中にもっと勉強しておけばよかった事、身につけられればよかった事

在学中にもっと勉強をしておけば良かったと思う科目、身につけられればよかったと思う知識や技術について、自由記述により回答を得た。

- ・勉強しておけば良かったと思う科目について4件の回答があった。

- ・介護の基本
- ・介護（コミュニケーション技術）
- ・介護技術に関する科目はやってもやっても足りないくらいだと感じています。学生のうちは実践する場面が多くないので、知識として引き出しをたくさん用意しておけば応用できるので必ず役に立つと思います。
- ・教科書をもっと活用できたら良かったと思う。

身につけられればよかったと思う知識や技術については3件の回答があった。記載内容は次の通りである。

- ・防災ボランティア
- ・防災福祉論
- ・寝たきりの方をベッド上でケアする機会が多いので、ベッド上で行うケアについてもっと練習しておけば良かったと思います。

7. 授業・実習についての改善希望点

在学中に受けた授業や実習について改善してほしいと思ったことを、自由記述で回答を求めたところ1件の回答があった。記載内容は次の通りである。

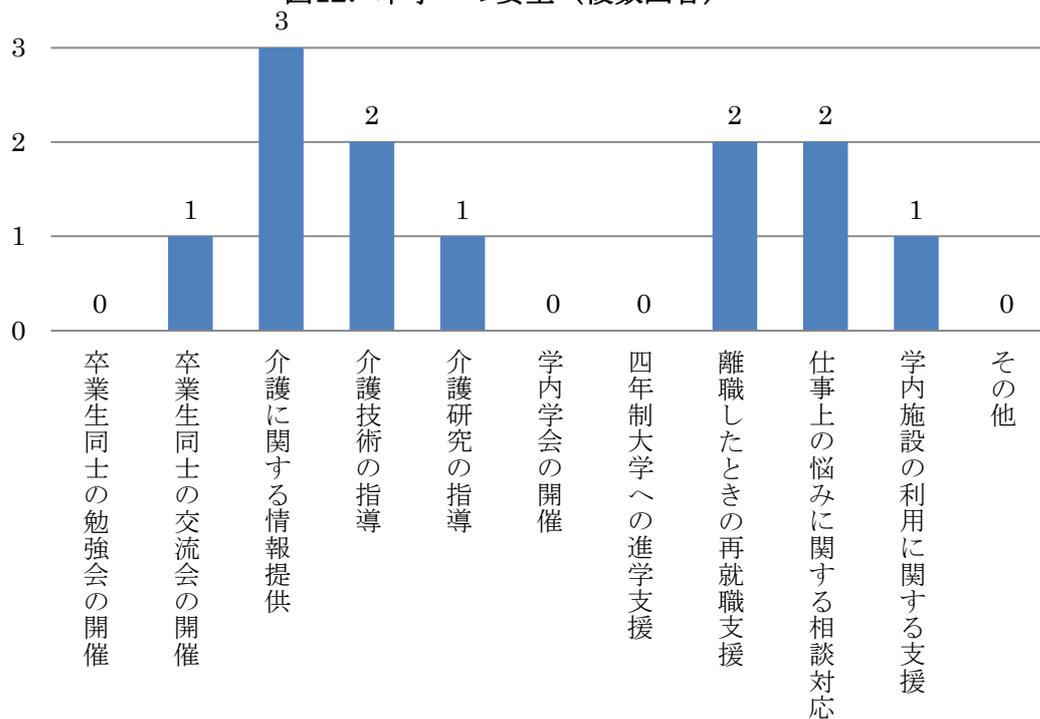
- ・コロナ禍で大学の講義がweb授業が多くなり、先生の生の声が聞けなかったことが残念でした。

8. 本学への要望

1) 本学から支援をしてほしいと思う事

本学から支援をしてほしいと事柄について11項目について複数回答で回答を求めた。最も多かった項目は「介護に関する情報提供」3名（60%）、次いで「介護技術の指導」「離職したときの再就職支援」「仕事上の悩みに関する相談対応」各2名（40%）、「卒業生同士の交流会の開催」「介護研究の指導」「学内施設の利用に関する支援」各1名（20%）であった。

図12. 本学への要望（複数回答）



9. 本学への意見

本学への意見については2件の回答があった。

- ・冬の満員バス通学はなかなかしんどいです。
- ・在学中はコロナ禍で先輩、友達とも自由に情報交換ができないことがあり、残念でした。手話サークルにも入ることができませんでした。地元就職して毎日頑張っております。これからもご指導の程よろしくお願い致します。

以上